

持続可能な木材生産・森林管理と 水資源管理との両立

● 東京大学北海道演習林では、北海道中央部の広大な天然林を対象にした持続可能な木材生産が実施されているが、写真のように樹木の伐倒、集材、林道修繕、更新補助作業などの一定の搅乱は避けられず、水に関する生態系サービスへの影響が懸念される。

● 持続可能な木材生産が、下流の水資源の量や質に及ぼす影響に関する情報が極めて少ないので現状です。

● 水文学におけるフィールド実験法である「対照流域法」に基づき、同演習林で持続的木材生産を実際に実施している場所に集水域を設けて、水資源の量や質への影響を明らかにし、最終的には、持続的な水資源管理と両立しうる木材生産・森林管理方法について、科学的根拠を与えることを目的としています。



伐倒・集材（北海道演習林）



林道修繕（北海道演習林）



更新補助作業（北海道演習林）

処理流域



対照流域



処理流域

